

入れ歯づかいの達人になろう！



歯を失ったかたにとって、もっとも身近な治療といえば、今も昔も「入れ歯」でしょう。入れ歯は、1本だけ歯を失ったかたから、全部の歯を失ったかたまで、どの歯を失った場合にも対応でき、多くのかたのお役に立つ治療法です。使い慣れるまでには努力が必要ですが、いったん慣れてしまえば、扱いはごくシンプル。外せば簡単にお手入れができ、清潔を保ちやすいという調整や修理を繰り返しながら長く使っていくこともできます。あなたのお口のためにつくられた「入れ歯」との上手な付き合いかたをアドバイスしましょう！

入れ歯を使うとどんなよいことがある？

「見た目がよくなる」

入れ歯は、失った歯の代わりになるだけでなく、歯の周りのあごの部分も補ってくれます。歯を失いやせてしまったあごを補い、頬をふっくらと回復させるので歯を失ったためにできるお口の周りにできるシワを減らす効果も期待できます！

「噛めるようになる」

自分の歯にくらべれば、部分入れ歯で噛める力は3分の1程度といわれています。それでも、入れ歯に慣れて噛めるお口を回復させ、「よく噛んで食べられるようになる」ことは、からだの健康や、食を楽しんで生活するために、とても重要なことです。

「喋りやすくなる」

歯を失うと、空気が漏れて発音しづらくなります。とくにサ行やタ行に影響しやすく、滑舌も悪くなってしまうことがあります。最初は発音しづらく感じますが、多くの場合、使い慣れることによって明瞭さを回復することができます。

お手入れ法と保管法マスターしよう！

～入れ歯を長持ちさせ、快適にお使いいただくために～

1. ブラシでみがく



落とす時に排水溝に流したり壊したりしないよう、下に洗面器を置きましょう。

2. 洗浄剤につける



ぬるま湯にいった洗浄剤につけます。

3. 最後によくすすぐ



毎日、1・2・3のセットで行います！

保管は入れ歯ケースで！



入れ歯は乾燥するとゆがんだりヒビ割れを起こしてしまいます。使わないときは水を入れた入れ歯ケースで保管しましょう。ティッシュで包むとうっかり捨ててしまうこともあるので要注意！！

むし歯や歯周病を予防して残っている歯を大切に守っていくために、定期的にメンテナンスを受けましょう！